

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会	茂原市教育委員会
-------	----------

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 新治小学校)

▷デジタル通学路安全マップ

—活用にあたって

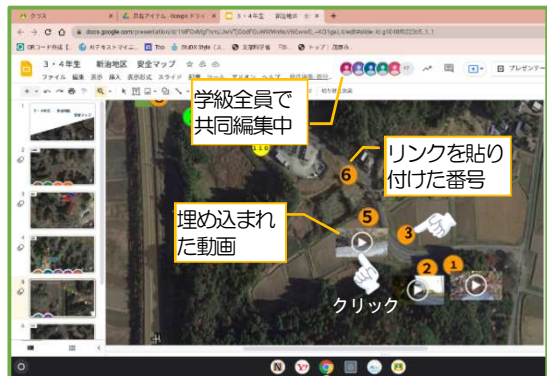
以前まで紙の掲示物で作成した安全マップを、「タブレットPCを活用して作成できないか」と考え、漠然としたイメージをICT支援員に伝えることからスタートさせる。

—活用の実際

- ①現地調査し、危険箇所等の動画や写真をタブレットPCで撮影する。
- ②スライドの地図上に動画を挿入する。クリックすると大きく再生される。(共同編集)
- ③地図上の番号にリンクを貼り付ける。クリックすると写真とコメントが表示される。(共同編集)
- ④掲示物用に地図を拡大印刷し、QRコードを貼り付けて動画が視聴できるようにする。

—良かった点

視覚的に動きのある安全マップを作成することができた。掲示物にQRコードを貼ったことで、他学年の児童も動画を見ることができた。協働制作中に児童が互いにコミュニケーションを図ることで、学習を効率的に進めることができるようになった。



動画の再生



写真とコメントの表示

2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 本納中学校)

▷別室登校生徒への授業配信

—授業配信のきっかけ

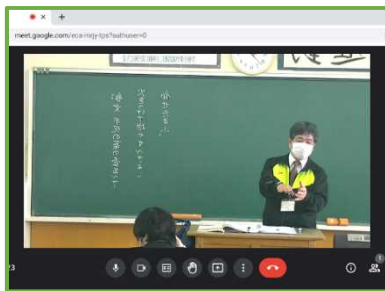
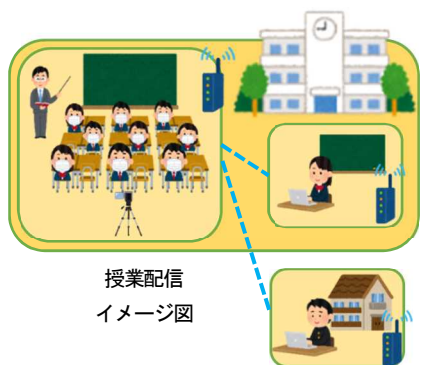
別室登校している生徒から「教室には行けないが、授業を受けたい。」と、申し入れがあったことが配信開始のきっかけとなる。

—授業配信の実際

Web会議システムを利用して、教室で行っている5教科(国社数英理)の授業を教室の後方から撮影し、校内の別室で生徒が視聴している。タブレットPCの内蔵カメラだと少し黒板の文字が見えづらいため、ビデオカメラをタブレットPCに接続している。

—良かった点

ライブ配信は、学級の日課表に沿って行っている。配信がない時間は、生徒は自分で課題に取り組んだり、作品づくりをしたりしている。それにより、以前より学校に滞在する時間が増えた。これまで欠席が多かった生徒が「午前中は学校で、午後は自宅で参加します。」と自分で計画を立てながら視聴時間を増やし、学習を継続している。



実際の画面
(授業の前後半でカメラを調整)



準備物
(教室の後方に設置)